

まちづくり・交通対策特別委員会 自動運転技術の実用化に向けて

【福岡県北九州市・北九州学術研究都市】

北九州市は、自動運転技術の研究開発を行うSBドライブ株式会社との連携協定を、平成28年4月に締結し、「北九州アップデートモビリティ研究会」を設立しています。研究会では、自動運転バスの実用化に向けた課題の研究などを進めています。今年の4月には、自動運転バスの実証実験が行われ、車両の位置や速度を制御する技術の実験を行うなど、自動運転バスの実用化に向けた取り組みが進められていました。

北九州学術研究都市は、敷地内にキャンパスがある早稲田大学や九州工業大学などで自動運転技術の研究が進められていました。早稲田大学の大貝研究室では、高齢化率が高く、斜面地が多い地域の「移動弱者」の解消を目指して「九州・ひびきの自律走行研究会」を平成22年に立ち上げ、

超小型電気自動車を改造した自動運転車両による実験を進めていました。

【検証の結果】

高い高齢化率という課題は、今後、急速に高齢化が進んでいくと言われている戸田市にも当てはまる課題ですが、自動運転技術は実証実験の段階であり、今後も引き続き調査研究を進めていきます。



7月5日 北九州学術研究都市にて

議会改革特別委員会

タブレット端末の導入により、費用負担等を軽減

【兵庫県芦屋市・神戸市】

芦屋市議会では、タブレット端末を利用し、会議のペーパーレス化を行ってまいりました。用紙・印刷代削減のほか、資料の印刷、配付、保管等に要する事務負担の軽減、連絡の即時性が高まったことなど、さまざまな効果が得られたということでありました。

神戸市会では、政務活動費の不正使用を防止するための取り組みを視察しました。政務活動費の適正使用に関する検討会の設置や、領収書等のインターネット公開による透明性の確保、第三者機関の監査によるチェック体制の強

化などを行ってまいりました。

【検証の結果】

タブレット端末の導入については、費用対効果をしっかりと意識し、効果を数値化している点は、本市においても取り組んでいくべきであると感じました。



7月3日 芦屋市役所にて

議会広報委員会

読者の視点に立った、 分かりやすい紙面づくりを目指す

【福岡県大刀洗町】

町村議会報コンクールで高い評価を受けている大刀洗町の議会だよりは、紙面の余白を多くとること、読者が必ず目にするような表紙写真の撮影を心掛けるなど、視覚的な充実を図っていました。

【検証の結果】

とだ議会だよりのページレイアウトや裏表紙の紙面構成を検討してまいります。



7月5日
大刀洗町議会議場にて

知っtocoクイズ当選者

6月定例会号「知っtocoクイズ (No.7)」の正解は、問1「所信」、問2「総括質問」でした。

正解者9人の中から抽選の結果、次の方にクオカードを贈りました。

- ・沓澤 美穂さん
- ・中山 みつ子さん
- ・本橋 ヒナ子さん
- ・佐野 愛子さん
- ・小野寺 美千代さん



おめでとうございます。

12月定例会の予定

※ 日程は変更になる場合があります。

- 11月22日(木) 本会議(定例会開会、議案説明)
- 29日(木) 本会議(質疑、請願の提出、委員会付託)
- 11月30日(金) 本会議(一般質問)
- 12月3日(月)
- 4日(火)
- 5日(水)
- 6日(木) 常任委員会
- 7日(金) 特別委員会
- 14日(金) 本会議(委員長報告、討論・採決、閉会)

※ 開議時間は、いずれも午前10時です。

気軽に市役所へ傍聴においでください。

第27回 全国市町村交流レガッタ 大津大会

議員クルーが銅メダル獲得!

9月15日、16日の2日間にわたり、滋賀県立琵琶湖漕艇場において全国市町村交流レガッタ大津大会が開催され、多くの市民クルーが参加する中、戸田市議会は「サクラソウ」と「モクセイ」の2クルーが議会議員の部に参加しました。

「サクラソウ」は残念ながら敗退しましたが、「モクセイ」は決勝戦に進出し、見事3位で銅メダルを獲得しました。



レース前に健闘を誓う戸田市議会チーム

美里町議会との交流会を実施

議員互助会では、7月27日、姉妹都市提携をして、今年で27年目を迎える美里町との議員交流会を、美里町で開催しました。晴れ空のもと、ブルーベリィ狩り、ダチョウ牧場である美里オーストリッチファーム視察、遺跡の森館の視察など、さまざまなイベントが行われ、両市町の現状や課題について意見交換を行うなど大変有意義な交流会となりました。



熱い意見交換